




第1章 環境基本計画の評価

この「環境白書」では、「環境基本計画」に掲げている「環境指標」の進捗状況から評価を行いました。

環境指標の評価の見方

	目標値を達成することができました。
	目標値を達成することができませんでしたが、平成 17 年度と比較して、目標値に近づいています。
	目標値を達成することができませんでした。平成 17 年度と比較しても目標値に近づいていません。
-	環境指標の設定、現状値の把握をしていません。



1-1 自然を身近に感じられる“まちづくり”（基本目標）

平成 18 年度の「緑地面積の割合」、「市民一人当たりの都市公園面積」は、緑地や都市公園の整備を進めていますが、前年度と比べて変化がありませんでした。また、生き物の生育・生息種数の平成 18 年度調査は実施していませんが、定期的に自然環境調査を実施していくとともに、生き物の生育・生息環境の保全に努めています。

「自然を身近に感じられる“まちづくり”（基本目標）」の達成のためには、樹林地、水辺環境、歴史文化財の保全対策を進めるとともに、農業を体験できる場の提供等、市民と事業者が連携を取れる仕組みづくりを進めていく必要があります。

印西市は、樹林地や農地などの自然環境や、利根川・亀成川等をはじめ、調整池や湧水地などの水辺環境、さらに、木下貝層等の歴史文化財にも恵まれた地域です。このような環境を後世に引き継いでいくためには、行政だけでなく、市民や事業者の協力も必要不可欠です。

環境指標の進捗状況(基本目標)

個別目標	環境指標	目標値	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	評価
	緑地面積の割合	39.8%	38.0%	37.7%	37.8%	37.8%	
	生き物の生育・生息種数	印西市自然環境調査報告書(平成 15 年 3 月)における確認種数 植物：641 種 動物(哺乳類)：7 種 (鳥類)：84 種 (爬虫類)：8 種 (両生類)：6 種 (昆虫類)：124 種 (魚類)：14 種を維持	印西市全域の自然環境調査は、概ね 3～5 年サイクルで実施する予定であり、平成 15、16 年度は、調査を実施していません。		植物：679 種 動物(哺乳類)：7 種 (鳥類)：78 種 (爬虫類)：6 種 (両生類)：6 種 (昆虫類)：129 種 (魚類)：14 種	印西市全域の自然環境調査は、概ね 3～5 年サイクルで実施する予定であり、平成 18 年度は、調査を実施していません。	-
	-	-	-	-	-	-	-
	市民一人当たりの都市公園面積	16.6m ²	9.1m ²	10.16m ²	10.72m ²	10.71m ²	
	-	-	-	-	-	-	-

備考) 個別目標の目標値は、環境基本計画では 40%以上と設定しているが、緑の基本計画の中間年次(平成 22 年)の目標値が 39.8%であるため、目標値を 39.8%と変更した。

印のついている用語の詳細については、資料編 P.65 以降の用語解説を参照下さい。

1-2 安心して生活できる“暮らしづくり”（基本目標）

印西市における生活環境の状況では、「二酸化窒素（NO₂）濃度」、「浮遊粒子状物質（SPM）濃度」、「亀成川、神崎川及び師戸川のBOD濃度」、「土壌の汚染に係る環境基準の達成状況」、「道路交通振動測定値」、「ダイオキシン類の環境濃度（大気、水質、土壌）」、「印西クリーンセンターの排気口におけるダイオキシン類の測定値」の目標値を達成しています。

一方、「地下水の環境基準の達成状況」、「騒音測定値」、「一人当たりの二酸化炭素排出量」、「一人1日当たりのごみの排出量」、「市資源化率」、「総資源化率」は目標値を達成していない状況です。

「地下水」については、1地点において測定項目の砒素が環境基準値を超過し、目標を達成できませんでした。砒素はもともと土壌中に存在しており、要因としてこれらの自然由来の砒素が溶出し、検出されたことが考えられます。

なお、砒素は健康被害が生じるおそれのある物質であることから、今後も地下水の汚染調査を継続し、地下水の保全対策を図る必要があります。

「騒音測定値」については、測定地点を毎年変更し調査を続けていますが、平成15年度以降、環境基準値を上回る結果となっています。その要因としては、都市化に伴う交通量の増加が考えられることから、県や周辺市町村と連携した道路交通騒音対策を進めるとともに、市・市民・事業者の活動においてエコドライブを推進していく必要があります。

市民一人当たりの二酸化炭素排出量は、平成15年度以降増加しており、目標を達成していません。市民一人ひとりの省エネルギー行動の実践やライフスタイルを見直すことで、環境への負荷を減らしていくことが大切です。

「一人1日当たりのごみの排出量」、「市資源化率」についても目標値を達成していないことから、今後も引き続き、「印西市ごみ減量計画（平成14年1月）」に基づき、生ごみ処理容器の普及や3R（排出抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））の推進などのごみ減量・再資源化の対策を進めていく必要があります。また、千葉ニュータウン、印西牧の原周辺地域への商業施設の進出等による事業系ごみの増加が見られ、事業系ごみに対してもより一層の減量化を進めていく必要があります。

大気、河川、騒音、振動ダイオキシン類の調査地点は、資料編P.24を参照下さい。
印のついている用語の詳細については、資料編P.65以降の用語解説を参照下さい。



環境指標の進捗状況(基本目標)

個別目標	環境指標	目標値	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	評価
	二酸化窒素 (NO ₂) 濃度	0.04ppm 以下 (千葉県環境目標値)	0.033 ppm	0.032 ppm	0.034 ppm	0.033 ppm	
	浮遊粒子状物質 (SPM) 濃度	0.10mg/m ³ 以下を維持 (環境基準)	0.082 mg/m ³	0.065 mg/m ³	0.074 mg/m ³	0.066 mg/m ³	
	亀成川の BOD 濃度	3mg/l 以下を維持 (環境基準)	1.5 mg/l	2.2 mg/l	1.6 mg/l	1.5 mg/l	
	神崎川の BOD 濃度	2mg/l 以下を維持 (環境基準)	1.3 mg/l	2.3 mg/l	1.3 mg/l	1.6 mg/l	
	師戸川の BOD 濃度	3mg/l 以下を維持 (環境基準)	3.4 mg/l	3.5 mg/l	4.6 mg/l	1.5 mg/l	
	土壌の汚染に係る環境基準の達成状況	全調査地点、全項目の達成を維持	全調査地点【3 地点】、全項目【27 項目】を達成している	全調査地点【3 地点】、全項目【27 項目】を達成している	全調査地点【3 地点】、全項目【27 項目】を達成している	全調査地点【3 地点】、全項目【28 項目】を達成している	
	地下水の環境基準の達成状況	全調査地点、全項目の達成を維持	全調査地点【3 地点】、全項目【29 項目】を達成している	2 地点は、基準値に適合。1 地点は硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の項目が基準値を超過していた。	全調査地点【3 地点】において、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の項目が基準値を超過していた。	4 地点は、全項目【29 項目】基準値に適合。1 地点は砒素の項目が基準値を超過していた。	
	騒音測定値	昼 60dB・夜 55dB 【A 地域】 昼 65dB・夜 60dB 【B・C 地域】 以下 (環境基準)	千葉竜ヶ崎線 (船穂中学校前) 【A 地域】 昼 71dB・夜 68dB	市道 00-005 号線 (小林コミュニティプラザ) 【B 地域】 昼 68 dB・夜 61 dB	千葉竜ヶ崎線 (木下 1404-45 付近) 【B 地域】 昼 74dB・夜 72dB	市川印西線 (浦部 588-3 付近) 【地域指定なし】 昼 73dB・夜 70dB	
	道路交通振動測定値	昼 65 dB・夜 60 dB 【第 1 種区域】 昼 70 dB・夜 65 dB 【第 2 種区域】 以下を維持 (要請限度)	千葉竜ヶ崎線 (船穂中学校前) 【第 1 種区域】 昼 46 dB・夜 42 dB	市道 00-005 号線 (小林コミュニティプラザ) 【第 1 種区域】 昼 33 dB・夜 31 dB	千葉竜ヶ崎線 (木下 1404-45 付近) 【第 1 種区域】 昼 51 dB・夜 46 dB	市川印西線 (浦部 588-3 付近) 【地域指定なし】 昼 54dB・夜 46dB	
	ダイオキシン類大気環境濃度	0.6 pg - TEQ /m ³ 以下を維持 (環境基準)	印西市役所屋上 0.12pg-TEQ/m ³ ふれあい文化館 0.12pg-TEQ/m ³ 高花 0.08pg-TEQ/m ³ 木刈 0.12pg-TEQ/m ³	印西市役所屋上 0.095 pg-TEQ/m ³ ふれあい文化館 0.10 pg-TEQ/m ³ 高花 0.10 pg-TEQ/m ³ 木刈 0.10 pg-TEQ/m ³ 小林 0.095 pg-TEQ/m ³	印西市役所屋上 0.065pg-TEQ/m ³ ふれあい文化館 0.070pg-TEQ/m ³ 高花 0.051pg-TEQ/m ³ 木刈 0.078pg-TEQ/m ³ 小林 0.060pg-TEQ/m ³	印西市役所屋上 0.025pg-TEQ/m ³ 高花 0.079pg-TEQ/m ³ 木刈 0.033pg-TEQ/m ³ 小林 0.024pg-TEQ/m ³	
	ダイオキシン類水質環境濃度	1.0 pg- TEQ /l 以下を維持 (環境基準)	草深小学校 0.026 pg-TEQ/l	船穂小学校 0.065 pg-TEQ/l	永治小学校 0.074 pg-TEQ/l	印西中学校 0.18 pg-TEQ/l	
	ダイオキシン類土壌環境濃度	1000 pg- TEQ /g 以下を維持 (環境基準)	高花小学校 0.069 pg-TEQ/g	大塚前公園 0.53 pg-TEQ/g	内野北児童公園 3.2 pg-TEQ/g	小林北小学校 0.0023 pg-TEQ/g	
	印西クリーンセンターの排気口におけるダイオキシン類の測定値	1 ng -TEQ/Nm ³ 以下を維持 (排出基準)	1号炉 0.25 ng-TEQ/Nm ³ 2号炉 0.062 ng-TEQ/Nm ³ 3号炉 0.014 ng-TEQ/Nm ³ (年平均値)	1号炉 0.0014ng-TEQ/Nm ³ 2号炉 0.0082ng-TEQ/Nm ³ 3号炉 0.00044ng-TEQ/Nm ³ (年平均値)	1号炉 0.015 ng-TEQ/Nm ³ 2号炉 0.025 ng-TEQ/Nm ³ 3号炉 0.034 ng-TEQ/Nm ³ (年平均値)	1号炉 0.0094 ng-TEQ/Nm ³ 2号炉 0.050 ng-TEQ/Nm ³ 3号炉 0.018 ng-TEQ/Nm ³ (年平均値)	
	一人当たりの二酸化炭素排出量	平成 13 年度レベル (4.62t-CO ₂ /年) を維持	4.70 t-CO ₂ /年 (平成 14 年度)	4.67 t-CO ₂ /年 (平成 15 年度)	4.77 t-CO ₂ /年 (平成 16 年度)	4.90 t-CO ₂ /年 (平成 17 年度)	
	一人 1 日当たりのごみの排出量	866 g	930 g	923g	956g	1,018g	
	市資源化率	21 %	21 %	20 %	20 %	19 %	
	総資源化率	28 %	27 %	27 %	26 %	25 %	
	-	-	-	-	-	-	-

備考 1) 印西クリーンセンターの排気口におけるダイオキシン類の測定値は、印西地区環境整備事業組合の提供資料によります。

備考 2) 個別目標 については当該年度のデータを把握できないため、その前年度のデータを報告しています。また、平成 17 年度より、電気使用量のデータ提供が受けられないため、千葉県のデータを使用し、目標値及び経年のデータを見直しています。

備考 3) 個別目標 については、平成 17 年度にごみの排出量の目標値が見直され、数値が変更されています。

印のついている用語の詳細については、資料編 P.65 以降の用語解説を参照下さい。

1-3 みんなで環境を育てる“しくみづくり”（基本目標）

「環境情報の提供回数」は、平成15年度以降目標値を達成しています。「環境講座、環境イベントなどの開催回数」、「環境活動団体数」は、目標値を達成していませんが、開催数、団体数が増え、目標達成に向けて若干前進しています。「こどもエコクラブ登録件数」は平成16年度から変化がないため、こどもエコクラブの活動を支援するサポーターの発掘や市内の学校への働きかけなど登録に向けての取組みを進めていくことが課題となっています。

今後は、広報・ホームページによる環境情報の提供方法や内容の充実化を図り、市民・事業者への意識啓発を行うとともに、環境講座・環境イベントなどの開催により身近な問題として子どもたちが環境に関心をもち、環境問題を「知る」という機会の創出により、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動につながるよう支援していく必要があります。

環境指標の進捗状況（基本目標）

個別目標	環境指標	目標値	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	評価
	環境情報の提供回数	12回	24回	24回	24回	24回	😊
	環境講座、環境イベントなどの開催回数	12回	7回	6回	7回	8回	😐
	こどもエコクラブ登録件数	15件	3件	2件	2件	2件	😐
	環境活動団体数	17団体	9団体	9団体	9団体	10団体	😐

印のついている用語の詳細については、資料編 P.65 以降の用語解説を参照下さい。

